

ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7（直通） FAX 042-481-7550

email kankyuu@city.chofu.lg.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。



2023年8月

第50号

刊行物登録番号

2023-90

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



第51回調布市環境フェア ~みんながつなぐ、調布の未来、地球の未来~を開催しました

お知らせ

令和5年6月17日（土）に、19年振りに調布駅前広場において開催しました。当日は真夏日にもかかわらず延べ約7,000人の方にご来場いただき、各ブースを熱心にご覧になるなど、環境問題について来場者の関心の高さが伺えました。

環境フェアは、各団体・事業者・行政等が環境に関

する情報を発信することで、来場される方々の環境問題への関心を喚起し、環境意識の醸成を図ることを目的としています。

出展にご協力いただいた29団体の皆様、ご来場いただいた皆様、どうもありがとうございました。

1. 当日の様様



会場の横断幕



都立農業高校



ちょうふ環境市民会議

2. 会場内での主なイベント

- (1) キーワードラリーを実施し、参加者に無農薬で栽培した野菜をプレゼントしました。なお、野菜の一部を、会場内でフードドライブを実施する調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会に寄附しました。



- (2) 来場者にゴーヤ苗・ひまわり苗及び液体肥料（約200セット）を無料配布しました。

- (3) スズメバチ芸人「丸沢 丸」さんによるスズメバチ対策の公演を開催しました。



夏の省エネ 7月1日～8月31日 節電要請

お知らせ

東京電力の管内では、7月1日から8月31日までの期間、節電要請が行われています。

家庭で節電効果が大いなのは、電力消費の多く（4割以上）を占める「照明」・「冷蔵庫」・「エアコン」の3つです。

特に、夏は、日中に使用量が増加する「エアコン」を「無理なく、無駄なく」使用することが効果的です。

- ①フィルターを掃除しましょう（月2回程度が目安）

フィルターが目詰りしていると、エアコンが無理をして効率が落ちてしまいます。

- ②室外機の周りを片付けましょう

風通しが悪く、室外機からうまく熱を逃がすことができないと、エアコンの効率が落ちてしまいます。

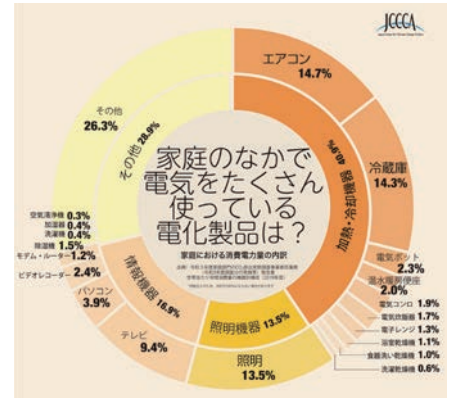
- ③部屋に直射日光が当たらないように工夫しましょう

東京都は、省エネルギー性能が高いエアコン、冷蔵庫、給湯器、LED照明器具に買い換えた都民の方へポイントを付与します。

詳細は、東京ゼロエミポイントホームページをご覧ください。



東京ゼロエミポイント
ホームページへ



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

みんなのおうちに太陽光 (太陽光発電パネル及び蓄電池グループ購入促進事業)

お知らせ

東京都が実施する「みんなのおうちに太陽光」事業は、「太陽光発電設備」・「蓄電池」を共同購入することで、設備導入コストを減らす取組です。

共同購入により、想定市場価格よりも約20%下がり、市や都の補助金と組み合わせれば、更にオトクです！

この機会に、電気代を節約しながら、環境に優しくCO₂の削減に貢献でき、災害時にも利用できる「太陽光発電設備」・「蓄電池」を設置してみませんか。



お問合せ先：東京 みんなのおうちに太陽光事務局 みんなのおうちに太陽光事務局へ
0120-723-100（午前10時～午後6時）



美化推進重点地区の指定について

お知らせ

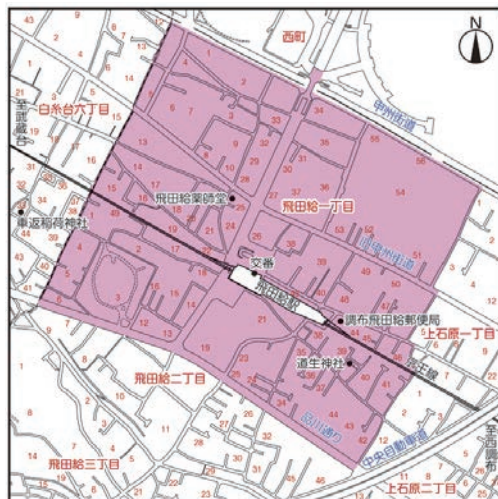
市では、平成10年4月1日に施行した「調布市都市美化の推進に関する条例」に基づき、街の環境美化活動を推進しています。このうち、特に美化を推進する必要

物の掲示、地域清掃事業等、美化推進活動を積極的に支援します。

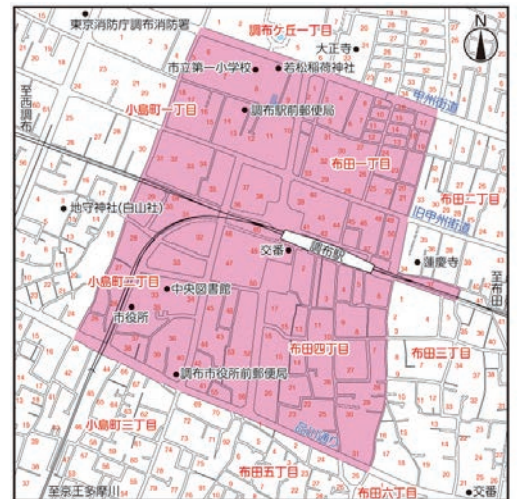
があり、かつ、地域の方々の美化意識が高く、積極的な美化活動を進めている地区を「美化推進重点地区」に指定しています。

令和5年4月1日から、新たに「飛田給駅周辺地区」と「調布駅周辺地区」の2地区を美化推進重点地区に指定しました（累計10地区）。

美化推進重点地区内においては、歩きタバコ・ごみのポイ捨てを禁止する啓発



飛田給駅周辺地区



調布駅周辺地区

グリーンカーテン事業の実施

活動報告

市では、緑の保全・創出による地球温暖化対策の一環として、公共施設の壁面緑化を推進しています。今年度は、公民館や児童館など10箇所の公共施設で、ゴーヤによるグリーンカーテン事業を実施しました。

夏場において、熱は、窓から約7割、外壁から約1割流入するといわれ、これを抑制するために、窓や壁面をゴーヤ、アサガオなどの緑で覆うことで、冷房負荷の低減による地球温暖化やヒートアイランド現象を防止する効果が期待できます。



図書館 若葉分館



佐須児童館



東部公民館

多摩川の外来植物駆除 ～守ろう多摩川の生き物～

活動報告

平成23年度から、多摩川河川敷における生物多様性の保全を図るため、生態系に悪影響を及ぼすアレチウリなどの特定外来植物の駆除活動に取り組んでいます。

今年度1回目を、6月25日(日)に実施しました。当日は、50人を超える多くの方にご参加いただき、合計104.5kgのアレチウリを駆除しました。9月にも駆除活動を実施する予定です。



コラム

『東京都レッドデータブック(本土部)2023』について

東京都(本土部)で絶滅のおそれのある野生生物について解説した「レッドデータブック」が、令和5年3月に10年ぶりに改定されました。

希少種の減少要因や分布図等を新たに掲載しているほか、「都内の希少種保全や自然再生などの取組み情報」なども掲載されています。

今回は、レッドデータブック掲載種の中から、種名に「カワラ」の名が

つき、河原の環境に結びついて生育し、調布市でよく見られる日本在来の植物を紹介します。



カワラケツメイ(北多摩:絶滅危惧Ⅱ類※)



カワラサイコ(北多摩:絶滅危惧Ⅱ類※)

※絶滅危惧Ⅱ類:絶滅の危険が増大している種

深大寺・佐須地域 ～概要と昔の風景～

お知らせ

調布市の北部地域に位置する深大寺・佐須地域は、国分寺崖線の周辺に広がる「はけ」の豊かな湧水による用水路に沿って、都市農地や屋敷林等が広がり、武蔵野の面影を残す里山風景を形成している地域です。

地域内には、谷戸の風景が広がる都立農業高校の神代農場や野草園、カニ山キャンプ場周辺の雑木林、水田や畑、屋敷林などが広がっています。

《昭和時代と平成時代の写真を比較》

戦後間もない昭和22年に撮影された航空写真では、辺り一面に田畑が広がっていたことが分かります。

平成3年に同じ地点で撮影された航空写真では、住宅地が増え、道路や野川も整備されていますが、今もなお、この地域には豊かな湧水や緑が残っています。

市では、こうした地域の豊かな環境を調布の財産として次世代に引き継いでいけるよう、里

山の風景が残る地域の環境を保全・活用する取組を進めています。豊かな自然環境や素晴らしい景観をみんなで保全していきましょう。



昭和22年撮影



平成3年撮影

昭和時代と平成時代の写真を比較（齊藤亀三氏所有）

田んぼ一面に稲を植えました ～公有地を活用した田植え体験～

活動報告

市では、深大寺・佐須地域で公有地化した土地を、里山や農に触れ合える体験型の環境学習・教育の場に活用しています。5月20日（土）に、毎年恒例となった田植え体験を開催しました。定員数を大幅に上回る200名の方の応募があり、当選された33名の親子にご参加いただきました。

まず、田んぼに入る前に、講師からお米の種類（うるち米、もち米、インディカ米）や、稲の持ち方等を学びました。

次に、実際に田んぼに入り、横一列になって目印紐に沿って稲を3～5本ずつ植えていきました。目印紐を移動させるメンバーと、田植えをするメンバーの息

の合ったチームワークのおかげで、一面の田んぼに稲を植えることができました。

収穫時期は9月です。稲刈り体験を予定していますのでお楽しみに♪



局地的な豪雨対策と豊かな湧水のために 雨水浸透ます設置にご協力ください

お知らせ

雨水を地下に浸透させる「雨水浸透ます」の設置については、市が費用を全額負担し、無料で設置できます。

雨水浸透ますを設置すると、屋根に降った雨水を雨どいを通して集め、地下に浸透させることができます。

屋根に降った雨水は、通常、雨どいを伝って下水へ流れますが、浸透ますを設置することにより、雨水を地下に戻すことができます。

雨水が地下に戻ることで、湧水の復活、局地的な豪雨などによる河川の治水対策、そして、地下水の涵養等が図れます。植物や魚などの生き物の生息環境を守るためにも、雨水浸透ますの設置にご協力ください。

対象は市内の既存住宅と個人所有の共同住宅で、最初に設置可否の下見を行います。設置工事は半日～1日程度。設置後の所有及び管理は住宅所有者が行います。

お申込み・お問合せは直接または電話、FAX、Eメールで環境政策課へ

